

★今週の聖句

「人の中から出てくるものが、人を汚すのである。」

マルコによる福音書 7:15

★ ねらい

- ・聖書は伝統や格式があるが、伝統や格式があるから大切にしなければならないのではなく、今を生きる私たちに必要なみ言葉を与えてくれるからこそ大切にしなければならないものであることを知る。

★説教作成のヒント

- ・正統な立場にあると自認している者たちにとって、自分たちが重んじている律法や伝統、生活様式がイエスの弟子たちによって破られてしまうことに我慢できなかった。もともと「神の掟」は、人間の生きるべき道を神が示されたものであったが、人の手によって有害なものに変えられてしまったことをイエスは厳しく批判された。

★ 豆知識

- ・2節、「汚れた」は、律法に照らして祭儀的に汚れていること。衛生的なことが問題とされているのではない。
- ・12節、「コルバン」は、「神への供え物」を意味するヘブライ語である。ある物について「これはコルバンである」と宣言すると、実際に神に供えられなくても、神への聖なる供え物とされ、本来の目的に使うことができなくなる。イエスは「父母を敬え」（出エジプト20章12節）の形骸化の例として用いられた。

★ 説教

ある中学校にサッカーチームがありました。このチームには伝統の練習方法がありました。この練習方法は、その昔、その学校がはじめて全国大会に出場できたときにコーチをしていた先生が考えたものでした。その練習方法は生徒一人一人の苦手や得意にあわせてコーチがつくったものでした。生徒たちはコーチのことが大好きでしたし、一生懸命練習したので、そのコーチがいる間は、全国大会でベスト8にも残りました。そのコーチが引越していなくなってからも、その学校は3年連続で全国大会に出場しました。けれどもコーチがいなくなってから今はもう10年以上経っています。にもかかわらず、その学校の生徒は当時と同じ練習をずっと続けていました。当時のコーチが考えた生徒の苦手や得意は今ともちろん違います、それでもその学校では、全国ベスト8になったんだから、素晴らしいコーチが考え出した練習方法だからと、同じ練習をずっと続けていました。

ある年、新しいコーチがその学校にやってきました。そのコーチは新しい練習方法を取り入れました、似たような練習もありましたが、今いる生徒一人一人の苦手や得意にあわせた練習でした。生徒たちはもちろん、周りの先生が反対しました。素晴らしい練習方法なのに、この練習方法で全国大会にも行くことができたのに…と。

そうですね、これは今日の聖書のお話のたとえです。最初のコーチは神さまです。新しいコーチはイエス様、神さまが作った練習方法は旧約聖書に書いてある戒めです。生徒はユダヤの人々、今の先生はファリサイ派や律法学者の人たちです。新しいコーチであるイエス様は言います「あなたたちは

最初のコーチが作った練習方法のみにとらわれて、その練習を続けることだけに重きを置き、そのコーチが誰を見て、何のためにその練習を作ったのかを気にしていない」と。

私たちが形ばかりにとらわれて、その中身の大切さに気づかないことがあるのではないのでしょうか。万人向けのこれさえやれば大丈夫という練習方法や、勉強方法などはありません。その時々、その人ごとに足りないところがあり、必要な練習、必要な学びがあるのです。そして、私に必要なものを、聖書の言葉を通して、イエス様はちゃんと教えてくれるのです。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

9 番

改訂版 9 番

やってみよう

「み言葉をたべよう！」

白など薄い色のおせんべいにチョコペンまたはアイシングで聖句を書きます。「神は愛です」など短い聖句が書きやすいと思います。

低学年の子どもたちは十字架を描くのはどうでしょうか。お互いの出来上がりをみんなで見ましょう。

神さまのみ言葉が外からも中からもわたしたちを守り、生かしてくさるようにお祈りします。

アイシングの作り方

粉糖 125g に 卵白 1 個分を入れ、スプーンでよく混ぜる。5分ほど空気を含ませるようにまぜる。つやが出て、白っぽくなったら出来上がり。この白アイシングにココアを混ぜると濃い茶色でよく見える字が書けます。かたすぎるようならほんの少しだけ水を加えます。ようじを逆さにして筆の代わりとしてアイシングを付けながら書くことができます。もし食用色素を加える時はごくごく少量から様子を見ながら加えて下さい。

はなそう

- ・みんなのまわり(学校や家庭、社会)で昔からあるルールや約束ってある?そのルールにはどんな意味がある?
- ・「伝統」や「格式」の意味を調べてみよう。みんなのまわりに「伝統」ってある?

★今週の聖句

「主よ、しかし、食卓の下の小犬も、子供のパン屑はいただきます。」
マルコによる福音書 7:28

★ねらい

- ・ギリシア人の女性が、真剣にイエスさまに向き合ったことにより、イエスさまから求めるものを与えられたことを知る。
- ・イエス様が決して限られた人たちのためだけのイエス様ではなく、求めるすべての人に応えてくださる方であることを知る。

★説教作成のヒント

- ・女性の願いを断るイエス様の姿に違和感を感じるかもしれないが、それこそ私たちの勝手なイメージで作上げられたイエス様であり、そうではないイエス様と向き合う。
- ・イエス様の言葉を時間をかけて、じっくり眺め、受け止めるとき、そこに「私」に語りかけられている主のみ言葉との出会いがある。
- ・マルコによる福音書のこれまでのイエス様の歩みを振り返り、全体の中でのこの物語の位置を踏まえつつ、日課を読む。

★豆知識

- ・ティルスの方角というのは、イエスさまが活動されたガリラヤから見て北方の外国にあたる。聖書巻末の地図「6. 新約時代のパレスチナ」が参考になる。
- ・当時、精神的な疾患は悪霊の仕業と考えられていた。

★ 説教

イエス様はこれまで、5千人の人々が満腹するほどの食事を提供したり、色んな人の病気を治したりしてきました。色んなところで神さまのお話もしました。けれども聖書を良く見ると、そのどれもがユダヤの人々に対する言葉やみ業であることに気づきます。そういえばイエス様はイスラエルの牧者として、ユダヤ人の王としてお生まれになった方であり、ユダヤ人を救う方としてその活動をしてこられた方であると、マタイ福音書やルカ福音書のクリスマスの物語に書いてありました。

だから、イエス様はユダヤ人のことを子どもとたとえ「まず子供たちに十分食べさせなければならぬ。」と言い、外国人であるこの女性のことを「小犬」と言っているのでしょう。

それにしても、このイエス様の言い方はちょっとひどいように思います。汚れた霊に取り付かれた幼い娘を持つこの外国人の女性がかわいそうに思います。もし私だったら、この言葉ですぐにあきらめて泣きながら家に帰っていたかもしれません。けれども、この女性はあきらめませんでした、いや、はじめからあきらめる必要もありませんでした。なぜなら、この女性はイエス様の言葉をしっかりと聞いていたからです。イエス様はこの女性に「まず、子供たちに十分食べさせなければならぬ。」と言っています。そうです、「まず」という言葉からイエス様は語りはじめています。「まず」があるということは、その次があるということです。すなわちイエス様はここで「あなたや、あなたの娘に与えるパンはありません」と言っているのではなく、「まずは子どもたちが満腹しなければなりません」と言っているのです。そして、イエス様はお腹の減った子どもを、それがたとえ羊のように

見えたとしても、そのままにしておられる方ではありません。イエス様は彼らが食べて満腹してもなお、あり余るほどのパンと魚を与える方なのです(6章30節～)。この女性はそのことをよく知っていたのかも知れません。そして何よりイエス様の言葉を一字たりとも聞き漏らさず、しっかりと聞いていたのです。だから彼女は「主よ、しかし、食卓の下の小犬も、子供のパン屑はいただきます。」とイエス様に言い返したのです。

クリスマス、イエス様が生まれる前、天使ガブリエルは「神は我々と共におられる」という意味の「インマヌエル」という名をヨセフに伝えました。神はユダヤ人だけと共におられるではありません。神はユダヤ人とも、この外国人の女性やその娘とも、そして私たちとも、共にいて下さるのです。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか” (日キ版) より

5 番

改訂版 49 番

やってみよう

「神さまの恵のパン」をつくろう!

ホットケーキミックスでパン作り

ざっくりとした簡単なパンを作ります。時間が足りない場合は先に作り、準備しておいても良いでしょう。

このパンは神さまの恵みです。食べることでわたしたちの心と体を満たしてくれます。ポロポロしやすいパンですが、「神さまの恵み」をこぼさないよう大切にいただきましょう。

材料 ホットケーキミックス 200g

バター (室温でやわらかくする) 25g

プレーンヨーグルト 150g

パウンドケーキの型 (100円ショップで、紙のものもあります)

ホットケーキミックスとバターをよくすり混ぜる。オーブンを170度で予熱スタート。ヨーグルトを加え、粉っぽくなるまで、さっくりと混ぜる。油をぬった(紙の場合は必要なし)型に入れ、表面をならし、170度に予熱したオーブンで30～35分位焼く。竹串をさして何もついて来なければ大丈夫。火の通りが足りないようであれば、アルミホイルなどをかぶせて焦げないようにして焼き時間を様子を見ながら増やします。

はなそう

- ・社会の中で「順番」ってある?それっておかしい or おかしくない? どうしてその順番があるのだろうか?
- ・聖書の中から「イエス様が誰のために来たか?」について書かれてある箇所を探してみよう。

★今週の聖句

「エッフアタ」と言われた。これは「開け」という意味である。
マルコによる福音書 7:34

★ ねらい

- ・イエス様は神と人との関係を再構築するだけでなく、人と人との関係も再構築して下さることを知る。

★ 説教作成のヒント

- ・身近なことから、聖書の中で描かれる物語を自分のものとしてとらえる工夫をする。

★ 豆知識

- ・イエス様が日常的に使っていたのはアラム語という言語であるが、新約聖書は地中海世界の共通語であったギリシア語で書かれている。「エッフアタ」はアラム語。
- ・この出来事は後に教会の中で儀式化され、洗礼式の前のエッフアタ式というものが誕生した。

★ 説教

この中で耳の聞こえない人はいますか？いたら手を挙げてください。

それでは、この中に舌の回らない人はいますか？いたら返事をしてください。 …

そうですね、先生のこの質問はとってもおかしいですね。だって聞こえない人に声をかけても、その人は先生が何と言っているかわからないですし、上手に話すことの出来ない人に返事をしてもらうようお願いをしても上手に返事ができません。

ではここで、〇〇くんは耳が聞こえず、舌の回らない人の役になってもらいます（〇〇くんにも立ってもらいます）。

耳がきこえず上手に話せないということは、人が何を言っているかわからないし、そのことを他の人に上手に言えないということです。これは私たちが全く同じではないですが外国に行ったときと似ています。私たちが外国に行くと、まわりの人が何を言っているかわかりませんね、また、自分の言葉もまわりのひとに通じないですよ。

では、〇〇くんはあっちに行ってもらいます。その間にあらかじめ先生が〇〇くんへ聞く質問を他の人に教えておきますね（質問は〇〇くんが理解できない外国語で）。

では〇〇くんに戻ってきてもらいましょう。〇〇くん、ここは外国です、日本人は〇〇くんだけです、「(英語で) 先生は君を見て杉ちゃんに似てると思ってたんだけど、君自身はどう思う？ワイルドか〜い？」 …

はい、終了。では〇〇くん、わからない言葉で質問されてどう思った？みんなの反応をみてどうだった？実は先生も〇〇くんと同じような経験をしたことがあります。何をいつてるかもわからないし、こっちが何をいつても通じないし、先生はそのときとても淋しい気がしました。自分は一人ぼっちで、みんな自分のことを悪く言ってるんじゃないかと、色んなことを考えてしまいました。

この耳が聞こえない、舌が回らない人も同じような気持ちであったんじゃないかと思います。いや、きつともっと淋しい思いを、悲しい思いをしていたんじゃないかと思います。そんな彼がイエス様のところにつれてこられました。そして耳が開け、口が聞こえるようになりました。

この人はイエス様とであうことによって、まわりの人たちとの関係が生まれたんです。イエス様は一人ぼっちのわたしたちのところに来て、他の人との関係をつくってくださいます。そう、それにはまわりの人たちの協力も必要でしたね。みなさんももし、まわりに一人ぼっちの人がいたら、どうかイエス様のところに連れてきてください、そしてみなさんももし一人ぼっちになったとしたら、きっとみなさんの周りの人が、みなさんをイエス様のところに連れてきてくれます、いや、今がそのときかもしれませんね。

★分級への展開

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

103番

改訂版58番

やってみよう

「エッファタゲーム」

～高学年～

こどもは一人ひとり聖書を手にしてスタンバイ。聖句とその聖書個所を書いたカードを数枚用意し、裏返しにして置いておく。

先生が「エッファタ（開け）！」と言いながらカードを開き、こどもたちは出た聖句の個所を探します。速く聖書を開けるかな？

～中学年～

動作にまどわされないように、よく言葉を聞くゲーム。

例) 先生は「エッファタ、手！」と言いながら足を開く。先生の動作につられないで手を開きポーズしましょう。初めの何回かは言葉と動作を合わせ、その後変えていった方が、どのこどもにもわかりやすいと思います。

～低学年～

体の一部（目、口、手など「開く」ことができる部分）を描いたカードを作り、やはり裏返して置いておく。先生はカードをめくりながらの「エッファタ」と言い、それに、合わせて絵と同じ体の一部（目、口、手など）をひらいてポーズ！

カードをめくるのをこどもたちが順番にするのも良いと思います。

はなそう

- ・自分が一人ぼっちだと思ふときってどんなとき？それはどうやって解消される？
- ・イエス様役の人を決めて、その人が二人の手を取って握手をさせる。
二人はどんな気持ちになる？これがもし好きな人どうしだったら？嫌いな人どうしだったら？

★今週の聖句

「自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」
マルコによる福音書 8:34

★ ねらい

- ・イエス様の「救い」の中身を聖書の言葉から聞く。

★ 説教作成のヒント

- ・イエス様はどのような思いで弟子たちに質問をされたのだろうか？
- ・ペトロ（弟子たち）はどのような思いでイエス様に答えたのだろうか？

★ 豆知識

- ・「メシア」はもともとヘブル語で「油を注がれたもの」を意味する言葉。
- ・油注ぎは、神さまから与えられた特別な使命を果たすために、神様が特別な力を王様や預言者に注がれることの象徴的行為。
- ・ギリシア語の聖書を日本語に翻訳するにあたり、新共同約聖書はヘブル語の「メシア」に相当する「キリストス」という単語を救い主の称号として使われている箇所では「メシア」、イエス様の固有名詞のように使われている箇所は「キリスト」と表記し、訳し分けている。

★ 説教

ユダヤの人々は「メシア＝救い主」をずっと長い間待っていました。彼らが待っていたメシアとは神様から遣わされた人手、自分たちを苦しみから救い出し、ユダヤの人々のために周りの国をやっつけて、ユダヤ王国をつくってくれる王さまのことです。

イエス様が「人々は私を何者だと言っているか？」と問うたとき、ペトロは「あなたはメシアです」と答えました。ペトロはイエス様が王様となってユダヤの国を治めてくれると思っていたのです。しかしイエス様はペトロやユダヤの人々の考えていたメシアではありませんでした。イエス様はご自分が多くの苦しみを受け、殺されてしまうと弟子たちに伝えたのです。敵をやっつけるメシアではなく、敵にやっつけられて殺されてしまうメシアだったのです。みんなとてもびっくりしたと思います。特に、頑固者ですぐに頭に血が上るペトロにとって、「そんなことがあつては困ります。王となるお方が苦しまれるなんて困ります、しかも死んでしまうなんてもっと困ります。」とイエス様をわきに連れ出していきめるのです。他の弟子たちも同じように思っていたと思います。

するとイエス様は「サタンよ、引き下がれ、あなたは神のことを思わず人間のことを思っている」と弟子たちに向かって怒ります。イエス様はなぜこんなにも怒ったのでしょうか？それはペトロがイエス様の救いのみ業を、神様の計画に従ってみるのではなく、自分たちの期待で見えていたからです。イエス様は自分たちの考えるメシアだから、こうなって、ああなって、最後にはこうなるんだ！そして自分たちは救われるんだ！と勝手に神様の救いを理解し、メシアを理解していたのです。

メシア、救い主とは、私たちの弱さやおろかさを、死を、受け止めてくださる方のことです。だからイエス様は苦しみを受け、十字架にかけられたのです。だからイエス様は復活なされたのです。

イエス様の救いのみ業を、自分たちの勝手な考えではなく、イエス様の言葉から聞いてまいりましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

1 2 7 番

改訂版 8 4 番

やってみよう

小枝を拾って組み合わせ

ボンドと麻ひもなどで、固定して十字架を作りましょう。

縦の一本は神さまと私たちをつなぎ、横の一本はわたしたち一人ひとりをお互い隣り人としてつなぎます。どちらもその真ん中にはイエスさまがいてくださることを覚え、感謝のおいのりをしましょう。

はなそう

- ・あなたにとって「救い」ってどんなこと？
- ・この世界にとっての「救い」について考えて、話してみよう。

★今週の聖句

「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」	マルコによる福音書 9:35
---	----------------

★ ねらい

- ・イエス様の言う「神の国」をつくる者となる。

★ 説教作成のヒント

- ・「偉い人」や「子ども」はいつの時代にも存在する。自分たちのまわりのそれらの人をイメージすることにより、聖書をより身近に感じてもらう。
- ・日課のテーマは「偉い人になるには？」ではなく「神の国とは？」であることに注意する。

★ 豆知識

- ・「いちばん先」とは「第一」という意味の名詞。「第一者」は政治的に最高の地位にある者を指して呼んだ。ローマ帝国の皇帝は「第一人者」と呼ばれ、これが初期の帝国の皇帝の公式な称号であった。
- ・「仕える者」とは当時の社会的身分をあらわす言葉で、奴隷や召使を指した。

★ 説教

みなさんの中に「えらい人」はいますか？なるほど…

では、「えらい」ってなんでしょか？どんな人が偉い人ですか？「総理大臣」「会社の社長」「監督」etc…。なるほど、じゃあ何故「総理大臣」や「会社の社長」や「監督」は偉いのでしょうか？なるほど、お金を持ってたり、強かったり、有名だから偉いのですね。そう、それともうひとつ、言うことを聞いてくれる人がたくさんいるからという理由もありますね、社長が「あれやっつけ」と部下に言ったら、部下はその仕事を一生懸命しますね。監督が「交代」と言ったら、自分はずっとやりたくても指示に従わなければなりませんね。

さあ、では今度は「子ども」について考えてみましょう、子どもというとみなさんも「子ども」ですね。でも今日はみなさんより「子ども」の事を考えてみてください…弟や妹がいる人はその弟や妹を考えてみてください。いないお友達は町で見かける自分より小さいこどもやあかちゃんのことを考えてみてください。あれれ、みなさん、顔が怖くなりましたよ、弟や妹、あかちゃんは可愛いですよ。見てるととっても嬉しくなります。でも考えるとみなさんの顔が怖くなるのはどうしてでしょう？そうですね、おもちゃを壊されたり、書うことを聞かなかつたり、いつもお兄ちゃんやお姉ちゃんががまんしたりしているから、だから顔が怖くなったんじゃないでしょうか？

さて、今日の聖書には「偉い人」と「子ども」が出てきました。イエス様は「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい」「わたしのためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである」とおっしゃっています。「偉い人になろうと思うなら、みんなのお世話をしなさい、みんなの言うことを聞きなさい」「(イエス様のために)子どもを喜んで迎え、お世話をする人は、わたしを喜んで迎え、お世話をしていることと同じですよ」

と、このようにおっしゃっているのです。

何だか、私たちが話し合った「偉い人」のイメージとはまったく違いますね。イエス様にとっての「偉い人」とは総理大臣や会社の社長や監督みたいな肩書きではなくて、その人がどんな生き方をしているか、その人がまわりの人にどのように接しているか、ということが大切だったんですね。また「子ども」についても、世話を見なければいけない、手間がかかるという怖い顔をするのではなく、たとえ自分たちにとって厄介者となるような人でも喜んで受け入れ、心から愛し、すすんでお世話をするようになり、イエス様のようなやさしい「顔」で子どもを迎えなさい、とおっしゃっているんですね。

この「偉い人」や「子ども」についてのイエス様のお話は「神の国」のお話です。「神の国」は、人に命令したり、人を切り捨てたりするような国ではなく、互いに仕えあう、互いに互いを大切に思い、お世話をする、そんな国だとイエス様はおっしゃっているのです。さあ、みなさん、今のみなさんのまわりはどうですか？日本は？世界は？イエス様のいう「神の国」になっていますか？もし、なっていないなら、私たちからはじめて、神の国を広げていきましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

48番

改訂版5番

やってみよう

「一番の者が後ろになる」じゃんけんゲームで遊びましょう。」

はじめはひとりずつスタートして歌いながら辺りを移動し、歌が終わったところで近くのひととじゃんけんをします。一般的には負けたら勝ったひとの後ろに付きますが、ここでは負けたひとが先頭になり、最後に一本の電車になるまでじゃんけんを繰り返します。

歌は「じゃんけん電車」、「貨物れっしゃ」などがあります。「線路はつづくよどこまでも」も良いでしょう。大人も入って、できるだけたくさんで遊ぶと楽しいと思います。一番先頭になるのは誰でしょう？

はなそう

「偉い人」と「仕える人」、みんなだったらどっちになりたい？その理田は？では何でイエス様はあんなことを言ったのだろう？

みんなが「仕える人」で「神の国」の住人だったら、その国はどんな国だろう？国会はある？税金は？学校は？戦争は？差別は？貧密の格差は？考えてみよう。